

## 122) 流れ花

花は流れて風になり	風は流れて雲になる
人は生まれてどこへ行く	人は恋してなんになる
どうせこの世は風まかせ	明日のことはわからない
今日咲く花も明日には	春の嵐に散ってゆく
花は枯れても実が残る	風は止んでも花は散る
人の心は <small>きまぐ</small> 気紛れで	恋の行方は <small>ゆくえ</small> 風のように
どうせこの世のしがらみを	背負って生きるこの身には
恋も涙も生命さえ	雲の流れに他ならず
季節はめぐって春が来て	春はめぐって秋が来る
人はいつしか年をとり	恋はいつしか朽ちて行く
どうせ実らぬ恋ならば	ひと花咲いて散りましょう
もえる <small>いのち</small> 生命も哀しみも	あの娘 <small>こ</small> のために捨てましょう
花は <small>いろあ</small> 色褪せいつの日か	雨にうたれて散ってゆく
美しき日は短くて	吐息のように過ぎてゆく
どうせこの世の語り草	すべては風に預けましょう
人の情けも真心も	気づいたときには遅すぎる
人はいつしか年をとり	花はいつしか散ってゆく
人の情けも真心も	気づいたときには遅すぎる